

## 平成27年度 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 平成28年3月9日（水）10:00～11:30
2. 開催場所： BBC ワールド ジャパン株式会社 大会議室
3. 番組審議委員： 総数8名 出席委員数4名 （欠席委員数4名）

<出席委員> （敬称略・五十音順）

- 委員 柴原 早苗（放送通訳者・大学講師）
- 委員 高島 肇久（株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長）
- 委員 福家 秀紀（駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授）
- 委員 マーシャ・クラッカワー（聖心女子大学英語英文学科教授）

### ※欠席委員

- 委員 小池 政行（日本赤十字看護大学教授）
- 委員 豊田 沖人（NHK グローバルメディアサービス・バイリンガルセンター専門委員）
- 委員 フィリップ・ブラウン（学習院大学外国語教育研究センター教授）
- 委員 牧野 琴子（字幕翻訳家）

## 4. 審議内容

### ① 下記審議対象番組についてのご意見、ご感想

#### ◆ニュース

「BBC ワールドニュース」二ヶ国語放送

#### ◆経済情報番組

「トーキング・ビジネス」英語字幕付き二ヶ国語放送

#### ◆ドキュメンタリー

「デザイン・アイコン」日本語字幕付き放送

### ② その他の番組、チャンネル全体についてのご意見

## 5. 議事概要

<「BBC ワールドニュース」についてのご意見>

- ・ニュースの選択や、ジカ熱などをとても丁寧に報道しているところは、相変わらず BBC は頑張っているなと感じた。
- ・ジカ熱、プーチン、メキシコ、モネのニュースは、日本語訳がかなり上手についていたが、BBC プロモーションの「This Week In History」の日本語訳は少し無理があった（難

しいのではないか)。

- ・国際的に関心が高まっていて、日本のマスコミでも報道している事柄については、同時通訳はかなりフォローが出来ているが、全く知らない話題をすぐに日本語にするのは大変だと思う。イギリス人探検家、ヘンリー・ウォースリーについてのニュースは、事前に何の情報もなく通訳していると思われるが、日本人が全く知らない人のニュースのため、ライブで日本語に翻訳するのは、かなり難しかったと思う。このようなニュースの場合は、事前に情報を入手しておくなど、まわりがもっとサポートしてあげた方が良いのではないかと思った。
- ・メキシコの話、モネの睡蓮の話は、すごく面白かった。
- ・プーチンの蓄財のニュースは、よく取り上げたと思った。このような日本のニュースでは絶対に取り上げないようなトピックを BBC が扱っていることを、もっと日本でプロモートしていくと、日本の人々も、より BBC に興味を持つのではないかと思う。
- ・同時通訳なので難しいとは思いますが、ニュースによっては、かなり日本語訳が遅れる場合がある。

#### <「トーキング・ビジネス」についてのご意見>

- ・「難民」の話と「移民」の話が、かなり混乱しているというか、整理がつかないまま番組になってしまっているのが、いささか BBC らしくないと感じた。移民が急増しているという話と、ドイツの労働人口の不足を補う意味での移民の果たしている役割というのが混同しており、難民は今のドイツにとって不可なのか、それとも将来使える人材だと思っているのか、その点が整理されていなかった。
- ・番組の中で難民が語学の訓練を行っているシーンがあったが、今急増している難民に対して、ドイツはどういう取り組みをしているのかを世界に知らしめるという意味でもし番組を作るのであれば、その辺のところをもう少し掘り下げられたのではないかと思った。
- ・BBC の討論番組は、しゃべっている人の顔のアップはあまり出さず、だいたい引きで撮っているので、エンターテインメントとしてのディスカッションではなく、淡々と話が続いていくのが面白い。
- ・出演しているドイツ人たちは極めて英語が堪能だった。
- ・司会者の質問に答えるだけでなく、パネリストたちがもう少し焦点を絞りで徹底的に議論をし、彼らの中で論争が起きると面白い番組になったと思う。大変行儀のいい BBC の番組だと感じた。
- ・以前 BBC の日本語放送は、「ジェンダーマッチ」と言って、必ず男性のオリジナル・スピーカーには男性の日本人放送通訳者を、女性には女性を、というのを徹底していたが、今はかなり女性通訳者の比率が高くなっている。そうすると、どこまでが司会者の言葉で、どこからが発言者の言葉なのか、うまく流れを追っていないと判断するのが難しい

と思った。

- ・「移民・労働者・難民」の言葉の使い分けについては、通訳者自身がこの3つを定義の違いを理解しているかどうか、通訳者の教養如何に関わってくるので、厳しいのではないかと思った。

#### <「デザイン・アイコン」についてのご意見>

- ・せっかくいいネタを集めているのに、あまりにも1つのテーマが短すぎて、しかも表面をなぞっただけなので、なんともったいないと思った。
- ・30分間に内容を詰め込み過ぎている。
- ・内容をあのぐらい細切れにするのであれば、1日1アイテムずつ、5日間くらいにわけて紹介するか、もしくは1日の違う枠で、少しずつ紹介していった方が、印象に残るのではないかと思った。
- ・視聴者によって、好みがあると思う。自分はコンパクトに30分でいろいろなことを知ることが出来るのは良いと思った。最近日本では、2時間半くらいの番組が多く、自分は1時間でも長いと感じるので、30分くらいのコンパクトな番組だと逆に見ようと思う。
- ・この6つのテーマのうち、どれについてもっと知りたいかを、放送後に視聴者に問いかけるのも面白いのでは？この番組をサンプラーとして放送し、SNSなどを使い、その後視聴者から反応を聞くというように、番組を発展させていけば面白いと思う。ネットに番組情報へのリンクを作り、もっと深く知りたいという視聴者をそちらへ誘導することも出来ると思う。
- ・日本語字幕付き放送が、一番落ち着いて番組を見られると感じた。司会のジョナサン・グランシー氏の語りや表情を落ち着いて見られたので、番組を楽しめた。ただ数秒間、字幕がつかない時間があつたのが気になった。

#### <その他の番組、チャンネル全体についてのご意見>

- ・日本の視聴者向けに、BBC ワールドニュースの編成を変えられたらいいと思う。
- ・英語字幕は、あまり丁寧についていると追いかけるのが難しい。特に「ハード・トーク」のようなしゃべりが早い番組を全部字幕にされても、追いかけられない。ネイティブ・スピーカーなら問題ないと思うが、ノンネイティブには厳しいと思う。
- ・去年から今年にかけて、ドキュメンタリーの字幕がとても良くなったと思う。タテ字幕が入るようになり、とても読みやすくなった。
- ・英語字幕付き放送が増え、英語学習の素材としてとても重宝するのではないかと思う。
- ・番組自体の選択、特に週末のドキュメンタリーは見応えのあるものが増えたように思う。
- ・プレミアリーグ関係の番組がもっとあれば、視聴率も伸びるのではないか。

以上